



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2022年11月7日

上場会社名 株式会社インターネットイニシアティブ  
 コード番号 3774 URL <https://www.ij.ad.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝 栄二郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役CFO (氏名) 渡井 昭久 TEL (03)5205-6500

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	121,962	11.8	11,173	20.1	12,858	23.3	8,740	25.6	8,638	25.3	9,074	0.9
2022年3月期第2四半期	109,054	7.3	9,304	77.6	10,432	133.6	6,958	147.6	6,892	148.8	8,997	108.4

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	47.81	47.58
2022年3月期第2四半期	38.17	37.99

(注) 当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。そのため、基本的及び希薄化後1株当たり四半期利益について、当該株式分割が前連結会計年度期首に行われたと仮定して、算出しております。

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	235,160	111,505	110,359	46.9
2022年3月期	231,805	104,621	103,528	44.7

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	23.00	—	25.00	48.00
2023年3月期	—	29.25	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	14.63	—

(注1) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。2023年3月期の期末配当金は当該株式分割後の数値であり、分割前の株数で計算した場合、期末配当金は1株当たり29.26円となり年間配当金は1株当たり58.51円となります。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	10.5	27,200	15.5	26,300	8.8	17,500	11.7	96.89

(注1) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。基本的1株当たり当期利益は当該株式分割後の数値であります。

(注3) 2023年3月期の連結業績予想の詳細につきましては、添付資料8頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期 2Q	187,069,600株	2022年3月期	187,069,600株
② 期末自己株式数	2023年3月期 2Q	6,371,656株	2022年3月期	6,443,334株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期 2Q	180,668,564株	2022年3月期 2Q	180,558,276株

(注)当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、上記の期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数につきましては、当該株式分割が前連結会計年度期首に行われたと仮定して、算出しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 業績予想の適切な利用に関する説明

業績予想は、本資料の発表日現在において当社グループの入手可能な情報に基づき、一定の前提(仮定)を用いて作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。また、今後の当社グループの事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、実際の業績が現状の見通し数値と大きく変わる可能性があります。業績予想につきましては、添付資料8頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) 金額の表示単位の変更について

当社の要約四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間についても百万円単位に組替え表示しております。

(3) その他

決算説明会プレゼンテーション資料は、TDnetにて2022年11月7日(月)に開示し、併せて当社ホームページへも掲載する予定です。

[目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 8
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 8
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 8
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	P. 8
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 9
(1) 要約四半期連結財政状態計算書(未監査)	P. 9
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書(未監査)	P. 11
(3) 要約四半期連結持分変動計算書(未監査)	P. 15
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書(未監査)	P. 17
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(未監査)	P. 19
(継続企業の前提に関する注記)	P. 19
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 19
(セグメント情報)	P. 19
(重要な後発事象)	P. 19

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ① 当四半期(2023年3月期第2四半期)の連結業績の概況

当四半期における国内景気は緩やかに持ち直しました。先行きにつきましては、各種政策の効果もあり、引き続き景気の持ち直しが期待されるものの、物価上昇、供給面での制約及び世界的な金融引締めによる金利や為替の変動等の影響を注視する必要があります。

そのような景気動向の中、当社グループが主にかかわる法人ICT<sup>(※1)</sup>関連市場では、企業及び官公庁のITサービスの利用拡大を背景としたインターネットトラフィック<sup>(※2)</sup>の継続増加、インターネット上の脅威に対抗するセキュリティ関連サービスの重要性の高まり、クラウドコンピューティング<sup>(※3)</sup>関連サービスの順次普及、それらサービスを総合的に利用するIoT<sup>(※4)</sup>の実用化の進展等により、今後も信頼性の高いネットワークシステムへの需要増加が継続していくものと想定しております。

当第2四半期連結累計期間の事業概況につきまして、ネットワークサービスは堅調に推移し、システムインテグレーションはネットワーク構築需要等の高まりのなか大きく伸長し、上半期の公表見通しを上回り進展いたしました。ネットワークサービス(除くモバイル関連サービス<sup>(※5)</sup>)では、IPサービス<sup>(※6)</sup>、セキュリティ関連サービス及びWANサービス<sup>(※7)</sup>等の積み上げ継続により、売上高は前年同期比10.1%増となりました。また、自社開発のSASE<sup>(※8)</sup>サービス「IIJセキュアアクセスサービス」の提供を開始し、ネットワークサービス群を更に拡充いたしました。モバイル関連サービスでは、個人向けIIJmioモバイルサービスの回線獲得は好調に推移したものの、前期初開始のギガプラン<sup>(※9)</sup>への旧プラン顧客の継続移行による平均顧客単価低下等の減収影響がありました。IoT用途等での法人向け直接提供は、新規案件の獲得及び既存案件の回線追加等で伸長し、これらの結果、モバイル関連サービスの売上高は前年同期比0.1%減となりました。システムインテグレーションでは、ネットワーク関連を中心としたシステム構築及び運用保守需要が非常に活況で、増収基調が強まりました。システム構築ではネットワークサービスとの複合案件が増加し、システム運用保守では構築後の運用案件の積み上げに加え、マルチクラウド<sup>(※10)</sup>需要の高まり等によるクラウドコンピューティング関連サービスの売上高が継続増加しております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、総売上高は、前年同期比11.8%増の121,962百万円(前年同期 109,054百万円)となりました。売上原価は前年同期比11.1%増の95,471百万円(前年同期 85,969百万円)となり、売上総利益は前年同期比14.8%増の26,491百万円(前年同期 23,085百万円)となりました。内訳といたしまして、ネットワークサービスの売上高は前年同期比6.7%増の67,707百万円(前年同期 63,436百万円)、売上総利益は前年同期比7.3%増の17,905百万円(前年同期 16,682百万円)となりました。システムインテグレーション(含む機器販売)の売上高は前年同期比19.5%増の52,846百万円(前年同期 44,209百万円)、売上総利益は前年同期比36.1%増の7,989百万円(前年同期 5,869百万円)となりました。ATM運営事業の売上高は前年同期並みの1,409百万円(前年同期 1,409百万円)、売上総利益は前年同期比11.8%増の597百万円(前年同期 534百万円)となりました。販売管理費等(販売費及び一般管理費、その他の収益及びその他の費用の合計)は前年同期比11.2%増の15,318百万円(前年同期 13,781百万円)となりました。営業利益は、前年同期比20.1%増の11,173百万円(前年同期 9,304百万円)となりました。税引前四半期利益は、ファンドに係る金融資産評価益1,196百万円(前年同期 1,692百万円の評価益)、為替差益761百万円(前年同期 3百万円の利益)、持分法損失78百万円(前年同期 372百万円の損失)等があり、前年同期比23.3%増の12,858百万円(前年同期 10,432百万円)となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比25.3%増の8,638百万円(前年同期 6,892百万円)となりました。

### 用語集

- (※1) ICT：Information and Communication Technologyの略。コンピュータによる情報通信に関するハードウェア、ソフトウェア、システム及びデータ通信等に関する技術の総称。
- (※2) インターネットトラフィック：インターネットを通じて転送されるデータ流量のこと。
- (※3) クラウドコンピューティング：コンピュータの機能や処理能力、ソフトウェア、データ等をインターネット経由で利用すること。
- (※4) IoT：Internet of Thingsの略。モノのインターネットと言われ、これまでインターネットに接続されていなかった物体に通信機能を持たせることで、物体が情報通信を行うようになること。
- (※5) モバイル関連サービス：IIJモバイルサービス(法人IoT用途向け直接提供及びIIJモバイルMVNOプラットフォームサービス)及びIIJmioモバイルサービス。
- (※6) IPサービス：当社が提供する、フルスベックの法人向け専用線型インターネット接続サービス。
- (※7) WANサービス：WANはWide Area Network(広域通信網)の略であり、専用線等を用いて、本店支店間等の地理的に離れたLAN同士を接続し、データをやりとりする広域ネットワークサービスのこと。
- (※8) SASE：Secure Access Service Edgeの略。従来の本社やデータセンターでの集中的セキュリティ統制に代えてクラウドサービスへの経路上でネットワーク制御とセキュリティ統制を行うことで、あらゆる環境からセキュアなアクセスが可能となるようシフトする考え方。
- (※9) ギガプラン：当社が2021年4月1日より提供開始した、個人向けモバイルサービスの新料金プラン。
- (※10) マルチクラウド：Amazon Web ServicesやMicrosoft Azureなどの異なる事業者のクラウドサービスを複数併用すること。

## ②経営成績の分析

当社グループの売上収益の大部分は「ネットワークサービス及びSI事業」からのものであり、役務別の分析により記載しております。

## &lt;連結業績サマリー&gt;

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	増減率 (%)
	金額(百万円)	金額(百万円)	
売上収益合計	109,054	121,962	11.8
ネットワークサービス売上高	63,436	67,707	6.7
システムインテグレーション売上高(注)1	44,209	52,846	19.5
ATM運営事業売上高	1,409	1,409	0.0
売上原価合計	△ 85,969	△ 95,471	11.1
ネットワークサービス売上原価	△ 46,754	△ 49,802	6.5
システムインテグレーション売上原価(注)1	△ 38,340	△ 44,857	17.0
ATM運営事業売上原価	△ 875	△ 812	△7.2
売上総利益合計	23,085	26,491	14.8
ネットワークサービス売上総利益	16,682	17,905	7.3
システムインテグレーション売上総利益(注)1	5,869	7,989	36.1
ATM運営事業売上総利益	534	597	11.8
販売管理費等(注)2	△ 13,781	△ 15,318	11.2
営業利益	9,304	11,173	20.1
税引前四半期利益	10,432	12,858	23.3
親会社の所有者に帰属する四半期利益	6,892	8,638	25.3

(注) 1. システムインテグレーションには機器販売を含んでおります。

2. 販売費及び一般管理費(含む研究開発費)、その他の収益、その他の費用の合計額を記載しております。

## &lt;セグメント情報サマリー&gt;

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
	金額(百万円)	金額(百万円)
連結売上収益	109,054	121,962
ネットワークサービス及びSI事業	107,712	120,608
ATM運営事業	1,408	1,409
セグメント間取引消去	△ 66	△ 55
連結営業利益	9,304	11,173
ネットワークサービス及びSI事業	8,933	10,725
ATM運営事業	417	468
セグメント間取引消去	△ 46	△ 20

## i) 売上収益

当第2四半期連結累計期間における売上収益は、前年同期比11.8%増の121,962百万円(前年同期 109,054百万円)となりました。

## &lt;ネットワークサービス売上高&gt;

法人向けインターネット接続サービスの売上高は、IPサービス及び法人IoT等用途向け法人モバイルサービス等の売上増加が、IIJモバイルMVNOプラットフォームサービスにおける調達コストの低減に応じた減収影響を吸収し、前年同期比2.4%増の19,269百万円(前年同期 18,813百万円)となりました。

個人向けインターネット接続サービスの売上高は、個人向けモバイルサービスにおいて、回線数増加に伴う売上増加が前期初開始のギガプランへの旧プラン顧客の継続移行による平均顧客単価低下の年度影響等を吸収し、前年同期比2.1%増の12,453百万円(前年同期 12,196百万円)となりました。

アウトソーシングサービスの売上高は、セキュリティ関連サービス売上高等の増加があり、前年同期比15.0%増の22,469百万円(前年同期 19,546百万円)となりました。

WANサービスの売上高は、前年同期比4.9%増の13,516百万円(前年同期 12,881百万円)となりました。

これらの結果、ネットワークサービス売上高は、前年同期比6.7%増の67,707百万円(前年同期 63,436百万円)となりました。

ネットワークサービス売上高の内訳、法人向け及び個人向けインターネット接続サービス契約数及び回線数の内訳並びに法人向けインターネット接続サービスの契約総帯域は、それぞれ以下のとおりであります。

## &lt;ネットワークサービス売上高の内訳&gt;

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	増減率
	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
ネットワークサービス売上高合計	63,436	67,707	6.7
法人向けインターネット接続サービス	18,813	19,269	2.4
IPサービス(含むインターネットデータセンター接続サービス)	6,622	7,090	7.1
IIJモバイルサービス	10,284	10,137	△1.4
法人IoT等用途向け直接提供	4,839	5,302	9.6
IIJモバイルMVNOプラットフォームサービス	5,445	4,835	△11.2
その他	1,907	2,042	7.1
個人向けインターネット接続サービス	12,196	12,453	2.1
IIJmioモバイルサービス	10,741	10,866	1.2
その他	1,455	1,587	9.1
アウトソーシングサービス	19,546	22,469	15.0
WANサービス	12,881	13,516	4.9

## &lt;インターネット接続サービス契約数及び回線数の内訳並びに法人向けインターネット接続サービスの契約総帯域&gt;(注)1

	前第2四半期連結会計期間末 (2021年9月30日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (2022年9月30日現在)	増減
法人向けインターネット接続サービス契約数合計	2,301,380	2,627,001	325,621
IPサービス(1Gbps以上)(注)2	757	818	61
IPサービス(1Gbps未満)(注)2	1,211	1,307	96
IIJモバイルサービス	2,210,095	2,532,815	322,720
法人IoT等用途向け直接提供	1,218,375	1,493,805	275,430
IIJモバイルMVNOプラットフォームサービス	991,720	1,039,010	47,290
その他	89,317	92,061	2,744
個人向けインターネット接続サービス回線数合計	1,416,927	1,518,130	101,203
IIJmioモバイルサービス	1,072,107	1,178,269	106,162
その他	344,820	339,861	△4,959
	帯域(Gbps)	帯域(Gbps)	(Gbps)
法人向けインターネット接続サービス契約総帯域 (注)3	7,279.7	7,729.1	449.4

- (注)1. 法人向けインターネット接続サービス及び個人向けインターネット接続サービスの内訳において、「IIJモバイルサービス」及び「IIJmioモバイルサービス」は回線数を表示しており、それ以外は契約数を表示しております。
2. IPサービスには、インターネットデータセンター接続サービスが含まれます。
3. 法人向けインターネット接続サービスのうち、IPサービス(含むインターネットデータセンター接続サービス)及びブロードバンド対応型サービス各々の契約数と契約帯域を乗じることにより算出しております。

<システムインテグレーション売上高>

システム構築及び機器販売による一時的な売上高は、前年同期比26.4%増の19,549百万円(前年同期 15,472百万円)となりました。システム運用保守による継続的な売上高は、案件の継続積み上げ及びクラウド関連サービスの売上高増加等があり、前年同期比15.9%増の33,297百万円(前年同期 28,737百万円)となりました。

これらの結果、システムインテグレーション(含む機器販売)の売上高は、前年同期比19.5%増の52,846百万円(前年同期 44,209百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間のシステムインテグレーション(含む機器販売)の受注は、前年同期比31.2%増の60,992百万円(前年同期 46,503百万円)となりました。このうち、システム構築及び機器販売に関する受注は前年同期比14.9%増の21,670百万円(前年同期 18,865百万円)、システム運用保守に関する受注は前年同期比42.3%増の39,322百万円(前年同期 27,638百万円)でありました。

当第2四半期連結会計期間末のシステムインテグレーション(含む機器販売)の受注残高は、前年同期末比17.4%増の80,937百万円(前年同期末 68,949百万円)となりました。このうち、システム構築及び機器販売に関する受注残高は前年同期末比16.0%増の14,572百万円(前年同期末 12,561百万円)、システム運用保守に関する受注残高は前年同期末比17.7%増の66,365百万円(前年同期末 56,388百万円)でありました。

<ATM 運営事業売上高>

ATM運営事業売上高は、前年同期並みの1,409百万円(前年同期 1,409百万円)となりました。

ii) 売上原価

当第2四半期連結累計期間における売上原価は、前年同期比11.1%増の95,471百万円(前年同期 85,969百万円)となりました。

<ネットワークサービス売上原価>

ネットワークサービスの売上原価は、モバイル端末の仕入の増加等があり、前年同期比6.5%増の49,802百万円(前年同期 46,754百万円)となりました。ネットワークサービスの売上総利益は、前年同期比7.3%増の17,905百万円(前年同期 16,682百万円)となり、ネットワークサービスの売上総利益率は26.4%(前年同期 26.3%)となりました。

<システムインテグレーション売上原価>

システムインテグレーション(含む機器販売)の売上原価は、売上増加に伴うマルチクラウド関連サービスのライセンス費用及び仕入の増加等があり、前年同期比17.0%増の44,857百万円(前年同期 38,340百万円)となりました。機器販売を含むシステムインテグレーションの売上総利益は、前年同期比36.1%増の7,989百万円(前年同期 5,869百万円)となり、売上総利益率は15.1%(前年同期 13.3%)となりました。

<ATM 運営事業売上原価>

ATM運営事業売上原価は、前年同期比7.2%減の812百万円(前年同期 875百万円)となりました。売上総利益は、597百万円(前年同期 534百万円)となり、売上総利益率は42.4%(前年同期 37.9%)となりました。

iii) 販売管理費等

当第2四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費(含む研究開発費)は、主として人件関連費用、広告宣伝費及び外注関連費用等の増加等により、前年同期比12.5%増の15,508百万円(前年同期 13,790百万円)となりました。

その他の収益は221百万円(前年同期 93百万円)となりました。その他の費用は31百万円(前年同期 84百万円)となりました。

iv) 営業利益

当第2四半期連結累計期間における営業利益は、前年同期比20.1%増の11,173百万円(前年同期 9,304百万円)となりました。

v) 金融収益、金融費用及び持分法による投資損益

当第2四半期連結累計期間における金融収益は、主としてファンドに係る金融資産評価益1,196百万円(前年同期 1,692百万円の評価益)、為替差益761百万円(前年同期 3百万円)等により、2,042百万円(前年同期 1,772百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間における金融費用は、支払利息266百万円(前年同期 272百万円)等により、279百万円(前年同期 272百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間における持分法による投資損益は、㈱ディーカレットホールディングスに関する損失180百万円等があり、78百万円の損失(前年同期 372百万円の損失)となりました。

vi) 税引前四半期利益

当第2四半期連結累計期間における税引前四半期利益は、前年同期比23.3%増の12,858百万円(前年同期 10,432百万円)となりました。

vii) 四半期利益

当第2四半期連結累計期間における法人所得税費用は、4,118百万円の費用(前年同期 3,474百万円の費用)となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間における四半期利益は、前年同期比25.6%増の8,740百万円(前年同期 6,958百万円)となりました。

非支配持分に帰属する四半期利益は、㈱トラストネットワークスに係る利益等により102百万円(前年同期 66百万円)となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間における親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比25.3%増の8,638百万円(前年同期 6,892百万円)となりました。



## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び株主資本の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比3,355百万円増加し、235,160百万円(前連結会計年度末231,805百万円)となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は前連結会計年度末比538百万円減少し、103,947百万円(前連結会計年度末104,485百万円)となり、主な残高及び増減の内訳は、現金及び現金同等物5,323百万円減少の42,068百万円、営業債権103百万円減少の37,546百万円、棚卸資産1,279百万円増加の3,887百万円、前払費用は運用保守原価等で2,097百万円増加の15,650百万円、契約資産1,575百万円増加の3,445百万円でありました。

当第2四半期連結会計期間末における非流動資産は、前連結会計年度末比3,893百万円増加し、131,213百万円(前連結会計年度末127,320百万円)となりました。主な残高及び増減の内訳は、白井データセンターキャンパス建設関連の取得等による有形固定資産2,838百万円増加の20,684百万円、使用权資産(オフィス、データセンター等の賃借契約及び通信機器等のリース契約の利用権)の償却等による214百万円減少の44,660百万円、無形資産はソフトウェア償却等による746百万円減少の15,678百万円、前払費用は運用保守原価等で1,512百万円増加の11,964百万円でありました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末比2,276百万円減少の74,501百万円(前連結会計年度末76,777百万円)となりました。主な残高及び増減の内訳は、営業債務及びその他の債務1,031百万円増加の21,773百万円、借入金250百万円の増加(うち長期借入金の返済による減少750百万円及び非流動負債からの振替1,000百万円)の16,620百万円、未払法人所得税1,907百万円減少の3,888百万円、契約負債435百万円増加の10,006百万円、その他の金融負債1,305百万円減少の15,730百万円でありました。

当第2四半期連結会計期間末における非流動負債は、前連結会計年度末比1,253百万円減少の49,154百万円(前連結会計年度末50,407百万円)となり、主な残高及び増減の内訳は、借入金は流動負債への振替で1,000百万円減少の4,500百万円、契約負債は921百万円減少の6,508百万円、その他の金融負債は911百万円増加の31,057百万円でありました。

当第2四半期連結会計期間末における親会社の所有者に帰属する持分の額は、前連結会計年度末比6,831百万円増加の110,359百万円(前連結会計年度末103,528百万円)、親会社の所有者に帰属する持分比率は46.9%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、42,068百万円(前年同期末39,795百万円)となりました。

## &lt; 営業活動によるキャッシュ・フロー &gt;

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前利益12,858百万円(前年同期10,432百万円)、減価償却費及び償却費14,145百万円(前年同期13,266百万円)、うちIFRS第16号の適用によるオペレーティング・リースに係る使用权資産の減価償却費5,629百万円(前年同期5,035百万円)、法人所得税の支払い6,035百万円(前年同期3,352百万円)があり、営業資産及び負債の増減は、営業債権等による収入減、前払費用及び棚卸資産等による支出増が、営業債務及びその他の債務等の支出減を上回り5,992百万円の支出(前年同期399百万円の支出)となり、13,457百万円の収入(前年同期18,865百万円の収入)となりました。

## &lt; 投資活動によるキャッシュ・フロー &gt;

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による5,704百万円の支出(前年同期4,164百万円の支出)、ソフトウェア等の無形資産の取得による2,137百万円の支出(前年同期2,167百万円の支出)、有形固定資産の売却による収入947百万円(前年同期1,011百万円の収入)等があり、7,219百万円の支出(前年同期8,185百万円の支出)となりました。

## &lt; 財務活動によるキャッシュ・フロー &gt;

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、本社オフィス等のオペレーティング・リース及びネットワーク機器等のファイナンス・リースの支払等によるその他の金融負債の支払9,544百万円(前年同期8,989百万円)、長期借入金の返済750百万円(前年同期4,085百万円)、配当金の支払い2,258百万円(前年同期1,759百万円)等があり、12,601百万円の支出(前年同期13,402百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は2022年5月13日に公表した連結業績予想を若干上回り推移しましたが、例年、通期連結業績見直しに対する業績寄与は第4四半期によるところが大きく、2023年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

**2. サマリー情報(注記事項)に関する事項**

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

## 3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書 (未監査)

	前連結会計年度末 (2022年3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (2022年9月30日現在)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	47,391	42,068
営業債権	37,649	37,546
棚卸資産	2,608	3,887
前払費用	13,553	15,650
契約資産	1,870	3,445
その他の金融資産	1,295	1,112
その他の流動資産	119	239
流動資産合計	104,485	103,947
非流動資産		
有形固定資産	17,846	20,684
使用権資産	44,874	44,660
のれん	9,479	9,877
無形資産	16,424	15,678
持分法で会計処理されている投資	5,830	5,672
前払費用	10,452	11,964
契約資産	69	53
その他の投資	17,410	17,780
繰延税金資産	183	196
その他の金融資産	4,245	4,101
その他の非流動資産	508	548
非流動資産合計	127,320	131,213
資産合計	231,805	235,160

	前連結会計年度末 (2022年3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (2022年9月30日現在)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	20,742	21,773
借入金	16,370	16,620
未払法人所得税	5,795	3,888
契約負債	9,571	10,006
繰延収益	65	77
その他の金融負債	17,035	15,730
その他の流動負債	7,199	6,407
流動負債合計	76,777	74,501
非流動負債		
借入金	5,500	4,500
退職給付に係る負債	4,395	4,478
引当金	786	788
契約負債	7,429	6,508
繰延収益	340	311
繰延税金負債	641	322
その他の金融負債	30,146	31,057
その他の非流動負債	1,170	1,190
非流動負債合計	50,407	49,154
負債合計	127,184	123,655
資本		
資本金	25,562	25,562
資本剰余金	36,518	36,615
利益剰余金	37,024	43,404
その他の資本の構成要素	6,275	6,609
自己株式	△1,851	△1,831
親会社の所有者に帰属する持分合計	103,528	110,359
非支配持分	1,093	1,146
資本合計	104,621	111,505
負債及び資本合計	231,805	235,160

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書(未監査)

## 要約四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
	百万円	百万円
売上収益		
ネットワークサービス売上高	63,436	67,707
システムインテグレーション売上高	44,209	52,846
ATM運営事業売上高	1,409	1,409
売上収益合計	109,054	121,962
売上原価		
ネットワークサービス売上原価	△46,754	△49,802
システムインテグレーション売上原価	△38,340	△44,857
ATM運営事業売上原価	△875	△812
売上原価合計	△85,969	△95,471
売上総利益	23,085	26,491
販売費及び一般管理費	△13,790	△15,508
その他の収益	93	221
その他の費用	△84	△31
営業利益	9,304	11,173
金融収益	1,772	2,042
金融費用	△272	△279
持分法による投資損益	△372	△78
税引前四半期利益	10,432	12,858
法人所得税費用	△3,474	△4,118
四半期利益	6,958	8,740
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	6,892	8,638
非支配持分	66	102
四半期利益	6,958	8,740
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	38.17	47.81
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	37.99	47.58

※当社は、2022年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。  
前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算定しております。

## 第2四半期連結会計期間

	前第2四半期連結会計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
	百万円	百万円
売上収益		
ネットワークサービス売上高	31,961	34,473
システムインテグレーション売上高	23,403	28,578
ATM運営事業売上高	715	721
売上収益合計	56,079	63,772
売上原価		
ネットワークサービス売上原価	△23,609	△25,371
システムインテグレーション売上原価	△20,380	△24,197
ATM運営事業売上原価	△431	△412
売上原価合計	△44,420	△49,980
売上総利益	11,659	13,792
販売費及び一般管理費	△6,707	△7,652
その他の収益	40	28
その他の費用	△48	△21
営業利益	4,944	6,147
金融収益	427	300
金融費用	△135	△148
持分法による投資損益	△155	△64
税引前四半期利益	5,081	6,235
法人所得税費用	△1,666	△1,982
四半期利益	3,415	4,253
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	3,385	4,248
非支配持分	30	5
四半期利益	3,415	4,253
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	18.74	23.51
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	18.65	23.39

※当社は、2022年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。  
前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算定しております。

## 要約四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
	百万円	百万円
四半期利益	6,958	8,740
その他の包括利益 (税引後)		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定するものとして指定した資本性金融商品の公正価値の純変動額	2,008	△711
純損益に振り替えられることのない項目合計	2,008	△711
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	18	1,011
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	0	△1
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	13	35
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	31	1,045
その他の包括利益合計(税引後)	2,039	334
四半期包括利益	8,997	9,074
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	8,931	8,972
非支配持分	66	102
四半期包括利益	8,997	9,074

## 第2四半期連結会計期間

	前第2四半期連結会計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
	百万円	百万円
四半期利益	3,415	4,253
その他の包括利益(税引後)		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定するものとして指定した資本性金融商品の公正価値の純変動額	1,174	241
純損益に振り替えられることのない項目合計	1,174	241
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	23	309
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△0	0
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△0	19
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	23	328
その他の包括利益合計(税引後)	1,197	569
四半期包括利益	4,612	4,822
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	4,582	4,817
非支配持分	30	5
四半期包括利益	4,612	4,822



## (3) 要約四半期連結持分変動計算書(未監査)

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式	合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年4月1日時点の残高	25,531	36,389	25,047	4,865	△1,875	89,957
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	6,892	—	—	6,892
その他の包括利益	—	—	—	2,039	—	2,039
四半期包括利益合計	—	—	6,892	2,039	—	8,931
所有者との取引額						
新株の発行	31	△31	—	—	—	0
自己株式の処分	—	23	—	—	24	47
配当金	—	—	△1,759	—	—	△1,759
株式報酬取引	—	39	—	—	—	39
所有者との取引額合計	31	31	△1,759	—	24	△1,673
2021年9月30日時点の残高	25,562	36,420	30,180	6,904	△1,851	97,215

	非支配 持分	資本合計
	百万円	百万円
2021年4月1日時点の残高	1,015	90,972
四半期包括利益		
四半期利益	66	6,958
その他の包括利益	—	2,039
四半期包括利益合計	66	8,997
所有者との取引額		
新株の発行	—	0
自己株式の処分	—	47
配当金	△49	△1,808
株式報酬取引	—	39
所有者との取引額合計	△49	△1,722
2021年9月30日時点の残高	1,032	98,247

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式	合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年4月1日時点の残高	25,562	36,518	37,024	6,275	△1,851	103,528
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	8,638	—	—	8,638
その他の包括利益	—	—	—	334	—	334
四半期包括利益合計	—	—	8,638	334	—	8,972
所有者との取引額						
自己株式の処分	—	56	—	—	20	76
配当金	—	—	△2,258	—	—	△2,258
株式報酬取引	—	41	—	—	—	41
所有者との取引額合計	—	97	△2,258	—	20	△2,141
2022年9月30日時点の残高	25,562	36,615	43,404	6,609	△1,831	110,359

	非支配 持分	資本合計
	百万円	百万円
2022年4月1日時点の残高	1,093	104,621
四半期包括利益		
四半期利益	102	8,740
その他の包括利益	—	334
四半期包括利益合計	102	9,074
所有者との取引額		
自己株式の処分	—	76
配当金	△49	△2,307
株式報酬取引	—	41
所有者との取引額合計	△49	△2,190
2022年9月30日時点の残高	1,146	111,505

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書(未監査)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	10,432	12,858
調整		
減価償却費及び償却費	13,266	14,145
固定資産除売却損益(△は益)	69	△151
持分法による投資損益(△は益)	373	78
金融収益	△1,742	△2,042
金融費用	272	279
その他	63	389
営業資産及び負債の増減		
営業債権の増減額(△は増加)	5,133	534
棚卸資産の増減額(△は増加)	79	△1,242
前払費用の増減額(△は増加)	△1,464	△3,351
契約資産の増減額(△は増加)	△585	△1,559
その他の資産の増減額(△は増加)	△30	△120
その他の金融資産の増減額(△は増加)	685	372
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△2,877	766
契約負債の増減額(△は減少)	△259	△700
繰延収益の増減額(△は減少)	△5	△1
その他の負債の増減額(△は減少)	△1,293	△772
その他の金融負債の増減額(△は減少)	0	△2
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	217	83
小計	22,334	19,564
利息及び配当金の受取額	154	189
利息の支払額	△271	△261
法人所得税の支払額	△3,352	△6,035
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,865	13,457

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
	百万円	百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,164	△5,704
有形固定資産の売却による収入	1,011	947
無形資産の取得による支出	△2,167	△2,137
子会社の取得による支出	△2,612	—
その他の投資の取得による支出	△348	△280
その他の投資の売却による収入	95	9
敷金及び保証金の差入による支出	△84	△30
敷金及び保証金の回収による収入	121	14
積立保険料の支払	△37	△37
その他	0	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,185	△7,219
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△4,085	△750
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,480	—
その他の金融負債の支払	△8,989	△9,544
配当金の支払額	△1,759	△2,258
その他	△49	△49
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,402	△12,601
現金及び現金同等物の為替変動による影響	50	1,040
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,672	△5,323
現金及び現金同等物の期首残高	42,467	47,391
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,795	42,068

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(未監査)

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

当社グループは、主として、インターネット接続サービス、WANサービス、アウトソーシングサービス等から構成されるネットワークサービスとシステムインテグレーションサービスを複合して提供することによって、顧客のニーズに応じた包括的なソリューションの提供を行うネットワークサービス及びSI事業と、ATM運営事業を行っております。したがって、当社グループは「ネットワークサービス及びSI事業」、「ATM運営事業」の2つを報告セグメントとしております。

当社グループのセグメント情報は次のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

	報告セグメント			要約四半期 連結損益計算書
	ネットワークサービス 及びSI事業	ATM運営事業	調整額	
	百万円	百万円	百万円	
売上収益				
外部顧客からの売上収益	107,646	1,408	—	109,054
セグメント間の売上収益	66	—	△66	—
売上収益合計	107,712	1,408	△66	109,054
セグメント営業利益	8,933	417	△46	9,304
金融収益				1,772
金融費用				△272
持分法による投資損益				△372
税引前四半期利益				10,432

当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

	報告セグメント			要約四半期 連結損益計算書
	ネットワークサービス 及びSI事業	ATM運営事業	調整額	
	百万円	百万円	百万円	
売上収益				
外部顧客からの売上収益	120,553	1,409	—	121,962
セグメント間の売上収益	55	—	△55	—
売上収益合計	120,608	1,409	△55	121,962
セグメント営業利益	10,725	468	△20	11,173
金融収益				2,042
金融費用				△279
持分法による投資損益				△78
税引前四半期利益				12,858

セグメント間取引は、市場に基づく取引価格に依っております。

## (重要な後発事象)

当社は、2022年8月5日の取締役会決議に基づき、2022年10月1日を効力発生日として、基準日である2022年9月30日の株式を対象に1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しています。なお、当該株式分割に伴い、要約四半期連結財務諸表で表示される前第2四半期連結累計期間及び前第2四半期連結会計期間、当第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結会計期間の1株当たり情報について、株式分割調整後の数値を表示しています。